

この教会には天使がいる。

4

R-18



この教会には天使がいる。

4

R-18



※このお話はエルシャダイを元にした教会パラレルです。

●イーノック♀

ルシフェルの守護天使。普段はシスターとしてルシフェルと教会で暮らしている。
豊満な肢体を持つが性格はいたって貞淑。

●ルシフェル

教会で神父をしているが信仰心は全く無い。
イーノックのことが気に入り
毎日閨を共にして可愛がっている。

～前回までのあらすじ～

「あなたの性欲処理も私の務め」というイーノックの言葉をきっかけにイーノックとルシフェルとの間に気持ちの擦れ違いが生じてしまう。
そんな隙を突かれたイーノックは悪魔に囚われ、肉奴隷として調教を受けることに。
ルシフェルもイーノックを助けるために駆け付けたが、
ただの人間の力では悪魔たちの結界を破れず、
輪姦されるイーノックを見つめることしかできずにいた…

あゝあ、
お前が強情なのが
いけないんだぜ？

俺達の肉奴隷が
嫌だつてんなら
下級悪魔の苗床にでも
なつてもらうしか
ないよなあ？

ぬめり
ぬめり
ぬめり
ぬめり
ぬめり

イーノック！
お前ら！やめろ！！
イーノック！

……だから
神など
信じられないんだ…

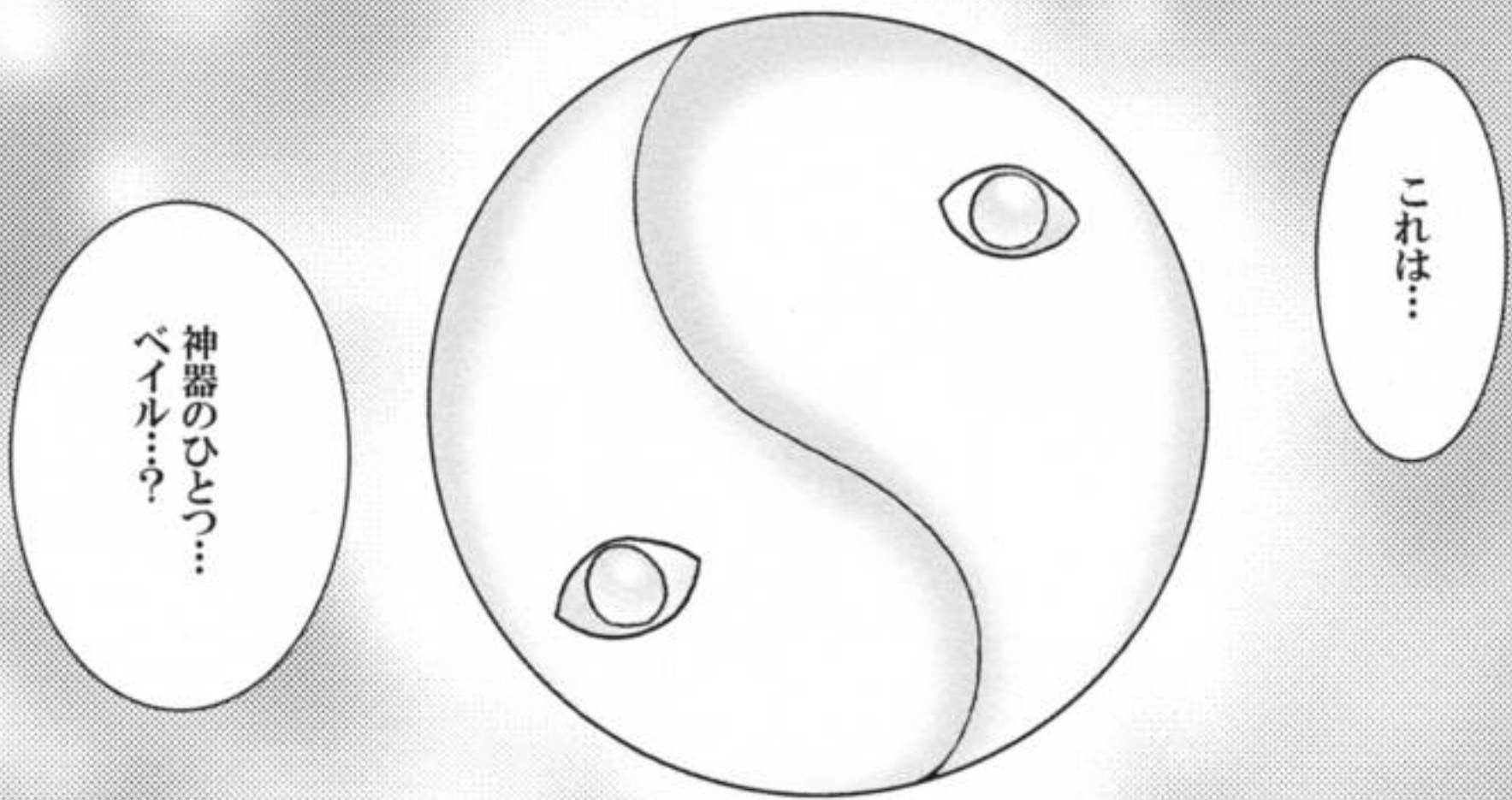
己の配下の天使が
あんな目に遭っていても
手も差し伸べない…

手駒の一人くらい、
どうなつても
痛くも痒くもないのだろう？
なんとも非情な事だ。

黒い
世界を
壊す

…存在するのなら
何とか言ったらどうだ…

全知全能の
神よ!!



これは…

神器のひとつ…
ベイル…?



神…これを
使えと言うのか?

私の力で
イーノックを
救ってみるとう?

……面白い。



私はあまり
タフガйна武器は
好きではないが…

イーノックのためだ。
甘んじてやろう。



な...お前...
どうやって...
ここに...ッ



イーノック!
大丈夫か?!

返事を
してくれ...
イーノック!



...イーノック...!



...あ...るし...ふえる...



遅れて...
すまなかった。
一緒に...帰ろう。







初めてお前が私の前に現れた時……

こんな不信心な神父の所に、天使なんて来るはずがないと思っていたよ。

本当に……あの時は疑ってひどい仕打ちを……すまなかった。

ルシフェル……

だがその後……お前は全てを許してくれた。

私の守護天使として、この教会で共に暮らすことを受け入れてくれた。



だからあの夜、お前に……

まるで、私の性欲処理のためだけにここにいるかのように言われて……シヨックだったんだ。

想っていたのは、私の方だけだったのか、とな。

そうして……一緒に過ごすうちに……

いつの間にか、お前は私にとってかけがえのない存在になっていたんだよ。



それで...

ぐんぐん...

?!



私だって...ッ

ぐんぐん

どうして今まで言葉で言ってくれなかったんだ...ッ

あなたは...

どうした?! どこか痛むか?



最初は、私もあまりに型破りな神父のあなたに翻弄された。

でも...一緒にいるうちに、隠されたあなたの優しさに触れ...

あなたをずっと守っていきたいという気持ちがあるが、神の指示とは関係なく私の中に芽生えたんだ。

そして... 天使の身でありながら...

ぐんぐん

いつまでもルシフェルのそばにいたい。

いつまでもそばにいて…
あなたの望みを
叶えたいと…そう思うように
なっていたんだ。



でも…私は天使だから…
ヒトに対してそんな想いを
抱いてはいけないと…
それで、ずっと…
気持ちを抑えて…

ぎゅっ…

ふん？

……なんだ。
やっぱり私たちは
似た者同士じゃないか。

…両思い、
だったんだな？

……ッ…!

ん…♡







…っ、イーノック、無理に飲まなくても…



そんな… あ…

なんだ… お前はやっぱり根がいやらしい天使だったんだな？

いいんだ… 私が… したかったから…

私に奉仕して… 精を飲んだだけでココがもうこんなになってるし… なあ？



ほら、ミルクも
どんどん
溢れてくる...

おっと、脚を
閉じるなよ。
よく見えるように
広げるんだ。

もにゅ、
もにゅ

あ...やあ...あ...
恥ずかし...ッ



あ...おしりは...
今...お待ちは...
やっ...ー待つ...

あ...あ...あ...

あ...あ...あ...

ふふ…見ろ、
お前があんまり
可愛らしいから…
またこんなになって
しまったよ。

そろそろ…ナカを
存分に味あわせて
もらおうかな。

ズルズル

いや。
もう待てない。

待って…わたし、
気をやった
ばかり…

みちゅ

あ…あ…あ…
は…は…
まちゅ…



ぬ ぶっ♡

ルシフェル...
そんな...
一気にい...う

ふふっ...お前だって
こうしてほしかった
だろう？

んひん♡
♡



イーノック…
もう…ずっと
放さないからな…？

あ…わ…
わたし、も…
るしふえる…



—
ルシフェル？



ああ、イーノック
ちょうど良かった。



そろそろ
ミサの時間だよ？
みんな集まってるから、
早く行かなきゃ…

20



お前のために用意した
下着なんだが…
今日のミサはこれをつけて
出るのはどうだ？



だめっ!!

なんだ
つれないな。

神へのお祈りは
まじめに行う
ものだよ!!

ふうん…だったら、
お祈りの後なら
いいんだな?



……



あつ……ほら、
ミサに遅れちゃうよ!
急いで!

…拒否しなかった…。
つまり、
ミサが終わったら
いいてことだな…♡

ここまでおつきあいいただきありがとうございました!

ルシイー♀の教会パラレルシリーズ、ひとまずここで一段落です。

とても楽しく性癖盛り盛りで描けたシリーズなので、また番外編的な形で神父とシスターな2人を描きたいと思います。

次回はTHE LOST CHILDの本の予定ですが、相変わらずルシイー♀なのでまたお手に取っていただけると幸いです!

ではまた次回の本にて。

しょうき

「この教会には天使がいる。4」

2017/12/31

発行:大福

しょうき

mail:sntk_snzok@yahoo.co.jp

twitter:s11226

pixivID:1011213

印刷:PICO様

無断転載・WEBへのアップロードを禁じます。

公式とは一切関係ありません。



EL Shaddai
FANBOOK
Lucifel*Enoch♀

DAIFUKU Presents!